

学校関係者評価 新居浜市立泉川中学校

1 学校関係者評議委員

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ・ 篠原 茂 氏（学校運営協議会会長） | ・ 高橋 美鈴 氏（学校運営協議会副会長） |
| ・ 真鍋 智明 氏（学校運営協議会委員） | ・ 秦 典生 氏（学校運営協議会委員） |
| ・ 石川 武博 氏（学校運営協議会委員） | ・ 原 寿也 氏（学校運営協議会委員） |
| ・ 梶本 香織 氏（学校運営協議会委員） | ・ 山中 俊子 氏（学校運営協議会委員） |
| ・ 太田 初 氏（学校運営協議会委員） | ・ 小山 博規 氏（学校運営協議会委員） |
| ・ 山内 光男 氏（学校運営協議会委員） | ・ 柴田 雅昭 氏（学校運営協議会委員） |
| ・ 石川 孝行 氏（学校運営協議会委員） | ・ 中原 真弓 氏（学校運営協議会委員） |
| ・ 山本 千明 氏（学校運営協議会委員） | ・ 藤澤 俊洋 氏（学校運営協議会委員） |

2 学校関係者評価結果（令和4年度1月21日実施）

(1) 学校からの報告

ア 成果

ほとんどの項目で3ポイント以上の評価が得られている。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、行事の見直しや日程の変更を余儀なくされた。そのような中で、PTA役員をはじめとする保護者や地域の方々の応援や協力を得ながら、安全かつ充実した教育活動を目指して励んできた。また、生徒会役員が企画・立案した「泉中レクリエーション大会」を実践し、主体的に活動する泉中生の育成にも努めた。そして、本年度は1人1台端末が配布され、本校でもICTを活用した実践を積み重ねてきた。朝の健康観察や生徒会行事においてタブレットを使用したり、新型コロナウイルス感染症防止対策としてリモートでの始業式を実践したりした。また、電子黒板やデジタル教科書を活用した授業を日常的に行い、「分かる授業 考える授業 伸びる授業」の実現を目指している。

- ・ アンケートの結果を見ると、「生徒は目標を持って学校生活を送れている。」の保護者と生徒のポイントが、昨年度よりも向上している。これは、本校は学校行事がコンスタントに設定されているため、その時々目標が立てやすいためではないかと考える。しかし、その行事がやらされているものとならないよう、生徒の主体的な活動となっているか、常に振り返りを行わなければならないと考える。
- ・ 「分かる授業ができるよう努めている。」の項目の教職員と生徒のポイントが向上している。これは、ICTを活用した授業に教師が意識して取り組んだ成果の表れであろう。視覚に訴える資料の提示やタブレット端末を用いた学習を行うことで、学習内容が分かったと感じる生徒が増えたのではないかと考える。これまでの教育に適切なICTの活用をどう取り入れていくかを、今後も模索していかなければならない。

イ 課題

ほとんどの項目で3ポイント以上という高い状態であるものの、保護者のポイントがダウンしている項目が複数あり、再検討していきたい。

- ・ 「お子さんは家庭学習に計画的に取り組んでいる。」の生徒・保護者のポイントが昨年よりも下降している。生徒は出された宿題を昼休み等の時間を利用して行い、家庭ではあまり学習を行っていないという現状があるのではないかと考える。家庭学習が、自分の学習の状況を踏ま

え、学力向上に向けた自主的な取組となるよう、課題の出し方に工夫をしなければならない。

- ・ 「生徒は地域の一員としてE S Dやボランティア等に進んで参加している。」の項目の保護者と生徒のポイントが下降している。「大好き泉川の日」の活動には毎回80名前後の生徒が参加をしているが、参加をする生徒が定着してしまっている。また、学年の割合を見てみると、3年生が多く、以前から地域とともに環境について学習を行ってきた3年生と、新型コロナウイルス感染症の影響で学習が滞っている1, 2年生との差が生じているためと考える。環境に関する意識を向上させる学習を計画的に行うとともに、地域の一員としての自覚を促す活動を展開していかなければならない。
- ・ 各項目の生徒のポイントは高いものの、保護者のポイントは伸び悩んでいる。この結果は新型コロナウイルス感染症の影響で参観日等が実施できず、生徒の活動の様子をお見せできないうえ、それを埋め合わせる学校からの情報発信が不十分であったためと考える。今後は生徒や保護者、地域を大切にする泉川中学校として、アンテナを高く立て、保護者や地域の方々の願いを吸い上げ、より充実した教育活動を実践できるよう努めていきたい。

(2) 意見・感想

- ・ 駅伝の練習では、初めに走ることの楽しさを教えて欲しいという意見がありました。私は、全てのスポーツの動機付けは、格好良さであったり、選手へのあこがれであったりするものであり、仲間同士が協力し合い、苦しい練習を通して達成感を味わうからこそ、そのスポーツが続けられるものと感じています。自分では見えなかった能力等も、やってみて初めて自覚できるものではないかと思います。
- ・ 学校が大変落ち着いていて、生徒が成長しているように見えます。先生方もよく子どもと関わっていると思います。
- ・ 子どもが、「学校が好き」、「先生が好き」、「〇〇の教科が好き」と言えば、保護者は良い学校、良い先生、教え方が上手だと思えると思います。逆であれば不満が生じます。一人でも多くの子どもに学校や先生を好きになってもらいたいし、分かる授業のための指導をしてもらいたいと思います。
- ・ アンケートを見ると、保護者の中には日頃子どもが学校にお世話になっているという気持ちをあまり持てない、不満を抱えている方がいるように思えます。また、アンケートが未提出の保護者や学校を欠席して調査をしていない生徒の中には、いろいろな思いや考えを抱えていることも知っておかなければならないと感じます。
- ・ 地域に出てくる生徒が多くいますが、参加した子供に対して、「毎回よく参加してくれてありがとう。」と言葉で伝えていきたいです。
- ・ 全体的に生徒の評価が高くなっているので、目標を持って学校生活を送り、充実したものとなっているのだと感じます。
- ・ 挨拶の意味を先生と生徒がしっかり確認したほうが良いと思います。親に、先生に、先輩に、地域の人に感謝の言葉として挨拶ができるようになると大変素晴らしいと思います。
- ・ 清掃、環境が大変整えられているので、外を歩いていても大変気持ちが良いです。このようなコロナ禍で中学校の行事をうまくコントロールしながら実施できているのは良いことだと思います。また、学業以外でも、部活動等の懸垂幕が多く掛かっているのを見ると大変誇らしく感じます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、ボランティア等に関わる項目が下がっているようなので心配です。学校生活や学習面等、新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら地域とつながりを持続けてもらいたいと思います。